

(仮称)川西久代南こども園 整備場所検討比較表

令和7年12月20日 資料4-1

	整備場所	面積	用途地域	接道幅員		利点	懸案
1	(旧)久代団地跡地	南側:1,400㎡ 北側:284㎡ 計約1,684㎡	1種住居	4.04~5.31m		・仮設園舎が不要のため、在園児への影響が少ない。	・敷地周辺道路の一部が住宅と隣接している。 ・周辺道路の状況により送迎ルートの指定等を検討する必要がある。
2	久代幼稚園・川西南保育所	2,891㎡	1種住居	4.24~4.95m	幼稚園敷地に建設	・現在地での建て替えとなるので、新規開設後も利用者の利便性が変わらない。 ・交通アクセス、安全性、周辺への影響も現状を維持できる。	・工事の騒音の中で保育所を運営しなければならない。 ・こども園を運営しながら保育所を解体しなければならない。
					保育所敷地に建設	・現在地での建て替えとなるので、新規開設後も利用者の利便性が変わらない。 ・交通アクセス、安全性、周辺への影響も現状を維持できる。	・仮設園舎の建設・運営が必要になる。 ・敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されている。
3	久代小敷地	1970㎡ (運動場8,390㎡内)	1種住居	3.35~4.85m		・仮設園舎が不要のため、在園児への影響が少ない。	・周辺道路が狭いうえ通学路のため安全確保が困難。 ・小学校運動場の面積に影響する。 ・敷地が民間所有借地である。 ・スポーツ21とコミュニティ施設の建物の移設が必要となる。